

2021年5月26日

2021年静岡県内企業・夏のボーナス予想

1人当たり支給額は前年比△2.5%の366,600円

静岡経済研究所（理事長 一杉逸朗）では、静岡県内企業の今夏のボーナス支給額を試算しましたので、その概要をご案内します。

1. 民間1人当たり支給額 366,600円（前年同期比△2.5%の見込み）

- ・ボーナス支給額は各社独自の算定方法で決定されるが、県下を総体的にみると、新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の急激な落込みで、前年実績を下回ることが見込まれる。
- ・従業員30人以上の企業は、前年度上半期の企業業績が大きく悪化したが、下半期の経済活動がやや復調したことで△1.2%の減少にとどまる。ただし、3年連続で前年を割り込む見込み。
- ・従業員29人以下の企業は、観光・レジャーや外食などの対人サービス業を中心にボーナスを減額する事業所が増加すると予想されるとともに、前年（推計+4.8%）の反動もあり、今夏は△7.2%と大幅な減少が見込まれる。

表1 静岡県の夏のボーナス民間1人当たり支給額推移（民間企業推計）

	2019年	2020年	2021年
全企業（円）	374,264	376,160	366,600
対前年比伸び率（%）	△4.9	+0.5	△2.5
うち従業員30人以上（円）	※440,807	435,234	429,900
対前年比伸び率（%）	△4.6	△1.3	△1.2
うち従業員29人以下（円）	259,877	272,273	252,800
対前年比伸び率（%）	△5.0	+4.8	△7.2

※ 2019年の従業員30人以上は確報値。その他は当所推計値。

2. △2.5%の減少が見込まれる背景

①企業収益の悪化

法人企業統計（四半期）によると、2020年度第3四半期（10～12月）は6四半期ぶりに企業1社当たりの経常利益が20百万円を超えるなど回復の兆しがみられるが、第4四半期（2021年1～3月）は緊急事態宣言が再発出され、観光・レジャー、外食では業績が悪化した企業も多く、ボーナス支給額を押し下げるとみられる。

②生産活動の低迷

2021年2月の県内の鉱工業生産指数（季節調整済）は90.8と15カ月連続で100.0を割り込み、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて生産活動は力強さを欠いている。

③雇用環境の悪化

2020年度の県内の有効求人倍率（季節調整値）は0.97倍と、7年ぶりに1.00倍を下回った。足元では持ち直す兆しがみられるが、業績悪化に加えて先行き不安が払拭できないことから、雇用環境の速やかな改善は見込み難いとみられる。

3. ボーナス支給総額 4,088億円（前年実績額比 △8.6%）

表2 静岡県の夏のボーナス支給総額推移（民間企業推計）

	2019年	2020年	2021年
支給総額（億円）	4,579	4,473	4,088
対前年比伸び率（%）	△4.6	△2.3	△8.6
ボーナス支給対象者数（万人）	約122.3	約118.9	約111.5
対前年比伸び率（%）	+0.4	△2.8	△6.2

推計値の算出方法

本推計は、アンケートやヒアリングなどの実態調査に基づくものではなく、ボーナスが支給される静岡県内のすべての民間勤労者（※約111.5万人）を対象として、ボーナス支給額と相関が高いと考えられる統計指標（鉱工業生産指数、労働生産性指数、有効求人倍率、名目賃金指数、消費者物価指数、新車登録台数など）を参考に、統計的手法に基づいて算出した。したがって、実際の主要企業平均支給額（静岡県夏季一時金要求・妥結速報）とは異なる。

※毎月勤労統計調査等をもとに推計

※本件のお問い合わせ先 担当（中村 建太）